文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府岸和田市	2 補助事業の種類	リストから選択
3 実施計画の名称	岸和田市文化振興計画	【計画の改善時期】 平成 34 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>岸和田市文化振興計画に謳われる「基本目標Ⅲ 1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用」に基づき、地域の歴史や文化財等への理解を促進し、地域の魅力向上につながる取り組みの推進に努め、子どもたちにも地域の歴史や文化財に親しみが持てる環境の整備に努め、地域の歴史に関する取り組みや文化財を活用した文化事業の取り組みに努めます。</p> <p>また、「基本目標Ⅲ 2. 伝統行事の保存・継承」に基づき、だんじり祭などの伝統行事の保存・継承の支援や発展に努め、歴史的・文化的資源の保存と活用を推進するため下記の取り組みを実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画については、実行委員会内の調整、運営は「山直地域文化遺産総合活用推進実行委員会」が行う。岸和田市教育委員会郷土文化室は計画の進行確認とその指導助言を行う。また、補助事業は「山直地域文化遺産総合活用推進実行委員会」が実施する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 0 千円	平成30年度申請額： 9,349 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域文化遺産に対する意識が向上し、保存・継承・活性化が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	岸和田市教育委員会生涯学習部郷土文化室（文化財担当）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化						
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 1 :	地域祭礼参加者数			関連事業:			
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 230 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 300 人						
設定根拠 1 :	祭礼参加者（地域住民及び観光客等）の約23%増を設定。						
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	人		人		人		人

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	山直地域文化遺産総合活用推進事業	実施団体：	山直地域文化遺産総合活用推進実行委員会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度	～	平成 30 年度
事業概要：	経年劣化、曳行時の振動などにより生じた亀裂や劣化部分を修復し、伝統的なだんじり曳行を円滑に進め、それを軸に地域活性化につなげる。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	地域祭礼への参加者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 230 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 300 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人
事業②：	山直地域文化遺産記録作成事業	実施団体：	山直地域文化遺産総合活用推進実行委員会		
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 年度	～	平成 年度
事業概要：	保存修理作業の公開、また修理作業の様様、禮大祭における地車曳行等の映像記録作成により、地域の伝統文化の継承を図る。				
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	記録映像の貸出、利用回数（市内図書館6館、小学校24校、中学校11校での貸出、利用回数）				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 123 回				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
回	回	回	回	回	回